



第18-110号

2019年2月7日

登戸駅が“すこしふしぎな”空間に！ 小田急線登戸駅構内に「ドラえもん」装飾を実施 2019年2月26日(火)から

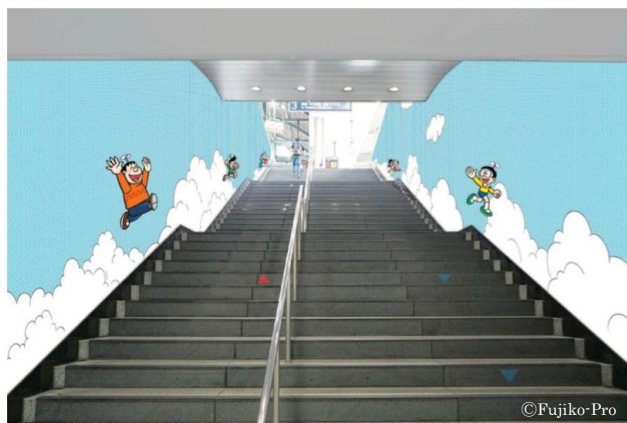
小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）では、川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム（所在地：川崎市多摩区 館長：伊藤 善章）の協力の下、2019年2月26日（火）から小田急線登戸駅において、ドラえもんキャラクターによる装飾を実施します。

今回の装飾は、「ドラえもんたちのいる すこしふしぎな駅」をコンセプトに、国内外で大人気である「ドラえもん」のまんがの世界に入り込んだような空間を演出します。多くの方に「ワクワク感」を感じていただき、川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアムおよびその最寄駅の一つである小田急線登戸駅へお越しいただきたいとの思いを込めて実施するものです。

また、一部壁面には、デジタル技術を活用した遊び心のあるコンテンツを設置します。

なお、小田急線登戸駅は、2017年度の日平均乗降人員は16万人を超え、全線で第5位です。2018年3月に実施したダイヤ改正から「快速急行」が新たに停車するようになり、新宿駅からの所要時間が最速16分となったほか、終日の列車停車本数も大幅に増加するなど、利便性やアクセス性が大きく向上し、駅をご利用のお客さまも増加しています。

ぜひ小田急線に乗って、登戸駅および川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアムへお越しください。



装飾イメージ

「登戸駅 ドラえもんキャラクター装飾」の概要は下記の通りです。

記

- 1 開始日 2019年2月26日(火)
- 2 場所 小田急線 登戸駅(所在地:川崎市多摩区登戸2417)
- 3 実施内容
 - ① 改札階・・・壁面、駅名標、エレベーター、デジタルサイネージ、
ドラえもん等身大フィギュア、ゴミ箱 等
 - ② ホーム階・・・待合室内ベンチ、駅名標、エレベーター、ゴミ箱 等
 - ③ その他・・・コインロッカー

以上

【川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアムについて】

長年、川崎市多摩区に住み、子どもたちのために数多くのまんがを描き続けた藤子・F・不二雄先生の功績を称えるとともに、応援してくれた子どもたちへ恩返しするべく、2011年に誕生したミュージアム。藤子・F・不二雄先生の作品世界やメッセージを、原画などを通じて、幅広い世代に伝えていく文化施設です。

あたたかみある笑い、ありふれた子どもたちの日常、こだわり続けた「SFーすこしふしぎー」。
藤子・F・不二雄(本名:藤本弘)先生は、読んだ人の心まで笑顔にする、そんな「まんが」を描き続けました。夢、希望、友情、勇気、大いなる好奇心。そして、人を愛する優しい気持ち…。これらの思いを、このミュージアムは現在に…、そして未来へ伝え続けていきます。

〈開館時間〉10:00～18:00

〈休館日〉毎週火曜日、年末年始

※臨時休館日は事前にホームページ(<http://fujiko-museum.com/>)でお知らせします

〈入館料〉大人・大学生1,000円、高校・中学生700円、
子ども(4歳以上)500円、3歳以下は無料

※入館チケットは日時指定による事前予約制です

〈所在地〉川崎市多摩区长尾2-8-1

〈アクセス〉小田急線 登戸駅より直行バスで約9分 ※約10分間隔で運行
小田急線 向ヶ丘遊園駅より徒歩約16分